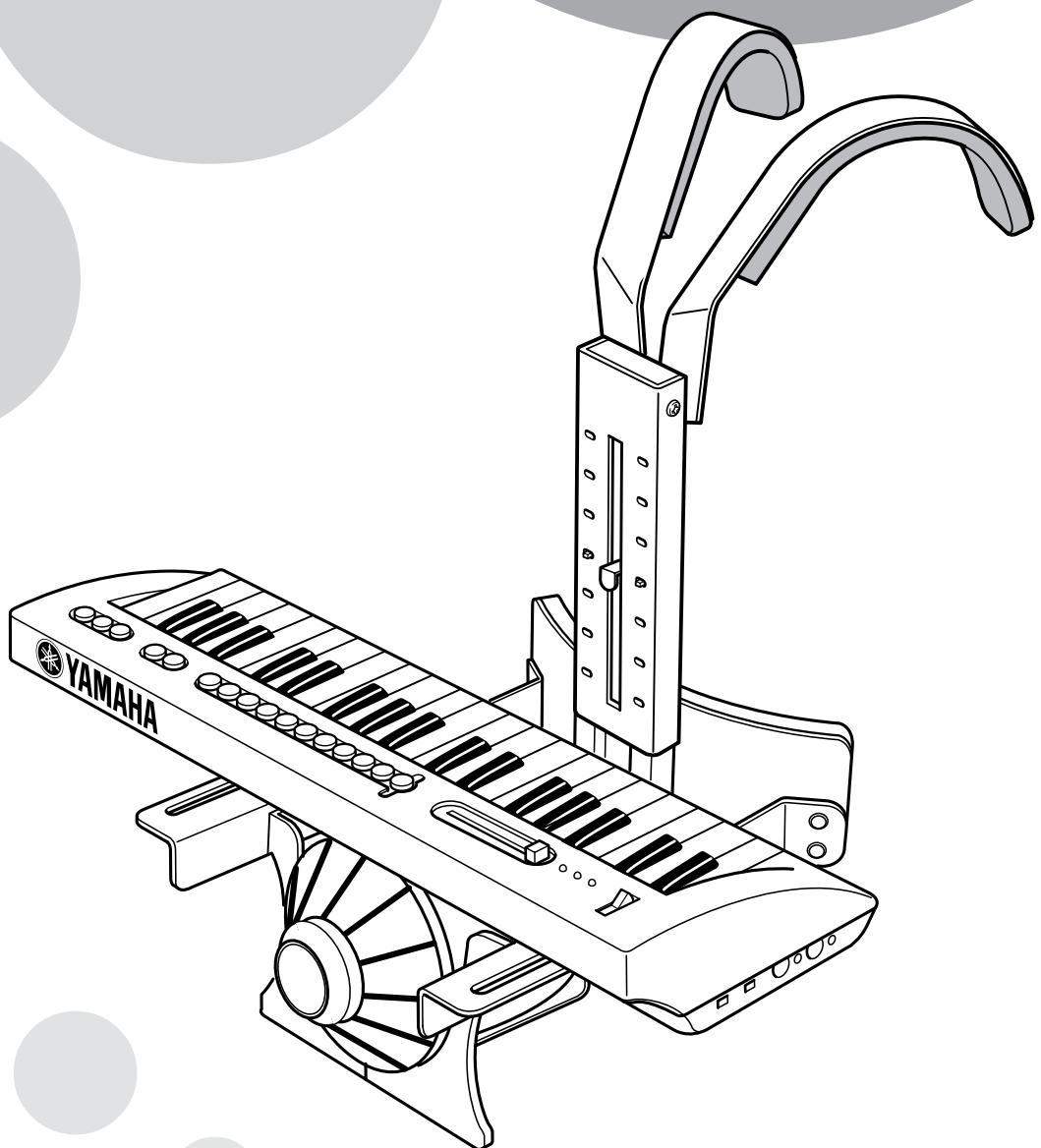




# マーチングキー ボード

## YMK-80

### 取扱説明書



# ごあいさつ

このたびは、ヤマハマーチングキーボードYMK-80をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。YMK-80は、様々なマーチング演奏に幅広く活用でき、園児・小学生の音楽活動の場を大きく広げるキーボードです。

ご使用にあたってこの取扱説明書をお読みいただき、本機の機能を充分にご活用いただくとともに、末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますよう、お願いいたします。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

○ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

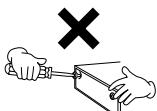
● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ！ 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

 この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。  
感電や火災、または故障の原因になります。

 使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または別紙のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

 電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

 電源アダプターは、必ず指定のものPA-Y19を使用する。  
異なる電源アダプターを使用すると、故障、発火などの原因になります。

 手入れをするときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

# ⚠ 注意

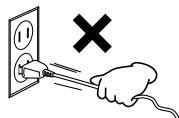
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

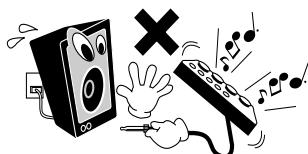


電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

不安定な場所に置かない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損する原因になります。

指定のホルダー以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷付けたりする原因になります。

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

大きな音で演奏するときは、スピーカーに耳を近づけない。聴覚障害の原因になります。

電源スイッチを入れるときは音量レバーを1にする。聴覚障害の原因になります。

キーボード取付ネジは位置を調節後、確実に締め付ける。演奏中キーボードなどがはずれて落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

高さ調節ツメが、穴から出ていることを確認する。演奏中キーボードなどがはずれて落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

ホルダーの高さやキーボードの位置の調整は、大人の方が行なう。キーボードなどが落下し、お客様がけがをするおそれがあります。

ホルダー上部のショルダーの回転には充分注意する。ホルダー部とショルダーの間に指などを挟んで、けがをするおそれがあります。

ホルダー部や楽器はむやみに振り廻したりしない。ホルダー部はすべて金属でできています。お客様や他の人にぶつかって思わぬケガをすることがあります。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

## マーチングキーボードYMK-80の主な特長

FM音源による美しい音色を20種類内蔵  
メロディや伴奏などの幅広いパートで活用することができます。

### ビブラート効果とサスティン効果

音を揺らすビブラート効果と、余韻を加えるサスティン効果により、抑揚や広がりのある豊かな表現ができます。

### 3段階の音域切替

音域切替スイッチにより、演奏音域をC2～C5(低)、C3～C6(中)、C4～C7(高)に切り替えることができます。

### ピッチ切替スイッチ、移調スイッチ

自然楽器とのチューニングを容易にするピッチ切替スイッチ(440/442/444Hz)と、楽譜の調に合わせて楽器の調を切り替える移調スイッチ(B♭/C/E♭)を装備しました。

### 高性能ホーンスピーカーを搭載

パワフルでクリアなサウンドのホーンスピーカーの採用により、屋外や広い場所でも豊かで高品質なサウンドを得られます。

### 急速充電が可能な高性能バッテリー

長時間の演奏が可能な高性能バッテリー(ニッケル水素電池)を内蔵しました。

付属の電源アダプターにより、短時間で充電できます。

## もくじ

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 部品の確認 .....              | 5  |
| ホルダーの組立と調整 .....         | 6  |
| ホルダーの組立 .....            | 6  |
| 演奏位置の調整 .....            | 7  |
| 各部の名称と機能 .....           | 8  |
| キーボード側面(スイッチ、接続端子) ..... | 8  |
| キーボード上面(操作子) .....       | 9  |
| 充電のしかた .....             | 10 |
| 音を出して演奏しましょう .....       | 12 |
| 演奏してみよう .....            | 12 |
| 電源アダプターを使って演奏してみよう ..... | 14 |
| 付録 .....                 | 15 |
| 故障かな?と思ったら .....         | 15 |
| 仕様 .....                 | 15 |



## 部品の確認

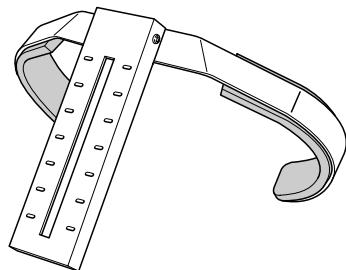
梱包箱の中には、以下の部品や同梱品が入っています。

組み立ての前に、すべての部品や同梱品が揃っていることを確認してください。



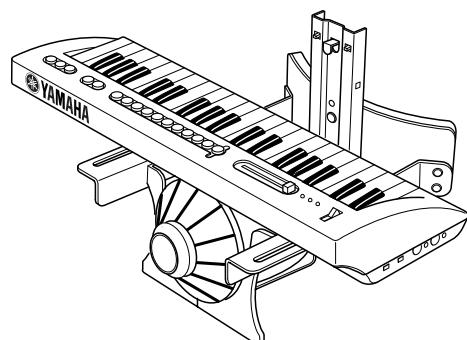
- 部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

ホルダー上部



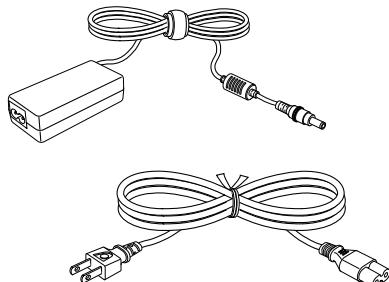
ホルダー下部

(キーボード本体、スピーカー付き)

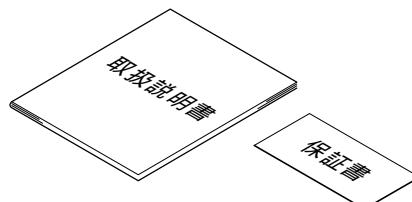


電源アダプター

(アダプター本体、電源コード)



取扱説明書(本書)、保証書



### リサイクルについて

この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換および、この製品を廃棄する場合は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお申し付けください。

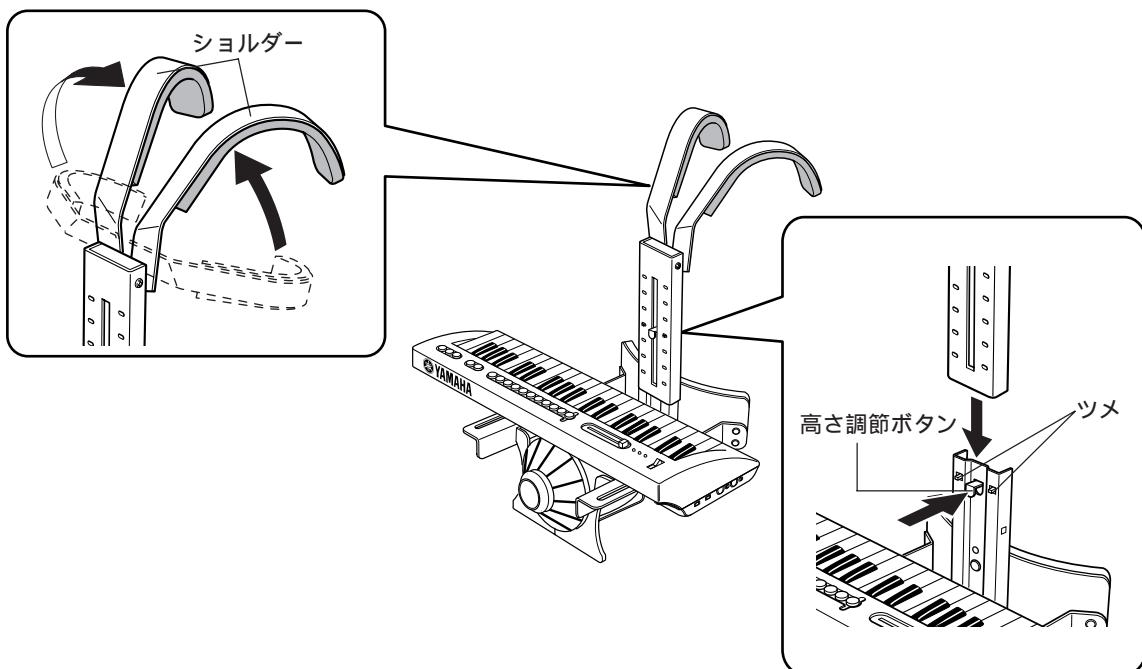


# ホルダーの組立と調整

本機の組立や調整をするときは、平らな場所で大人の方が行なってください。床やホルダーに傷を付けないために、床にじゅうたんや柔らかい布を敷いておくとよいでしょう。

- ① 注意! • 各部品を落とさないようご注意ください。

## ホルダーの組立



### 1 ホルダー上部をセットします。

T字型に開いているショルダーを、イラストのように上に回転させます。

- メモ • ショルダーは取り外すことができません。

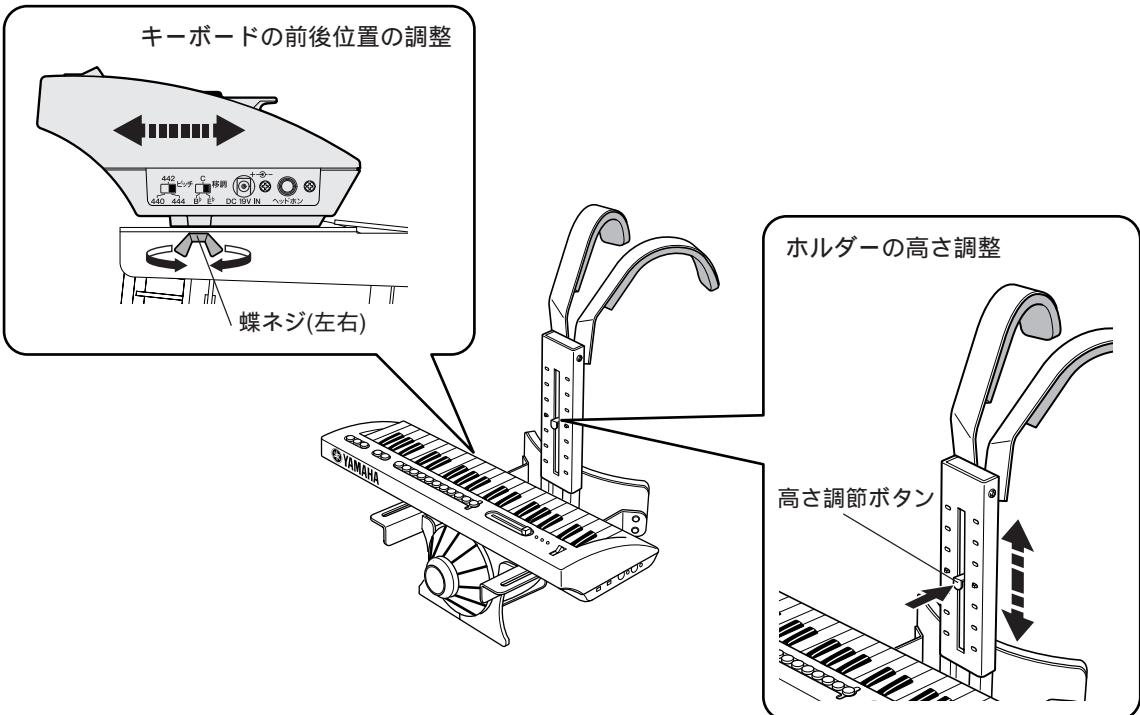
- ① 注意! • ショルダーの回転部分で指を挟まないようご注意ください。

### 2 ホルダー上部/下部を組み立てます。

ホルダーアーム下部の高さ調節ボタンを奥まで押し込んだ状態でホルダー上部を差し込み、ホルダー上部の穴にツメが「ガチャ！」と出てくるまで差し込みます。

- ① 注意! • ホルダー上部/下部の接合部分で、指を挟まないようご注意ください。

## 演奏位置の調整



### ホルダーの高さ調整

児童の身体に合わせて、ホルダーの高さを7段階に調整することができます。



- ・高さ調整は、児童に装着した状態では行なわないでください。

高さ調節ボタンを押さえてホルダー上部をスライドさせ、高さを調整します。



- ・ホルダーのスライド部分で指を挟まないようご注意ください。
- ・高さをえるときは、ツメが「ガチャ！」と左右の穴から出てくるまで、確実にえてください。

### キー ボードの前後位置の調整

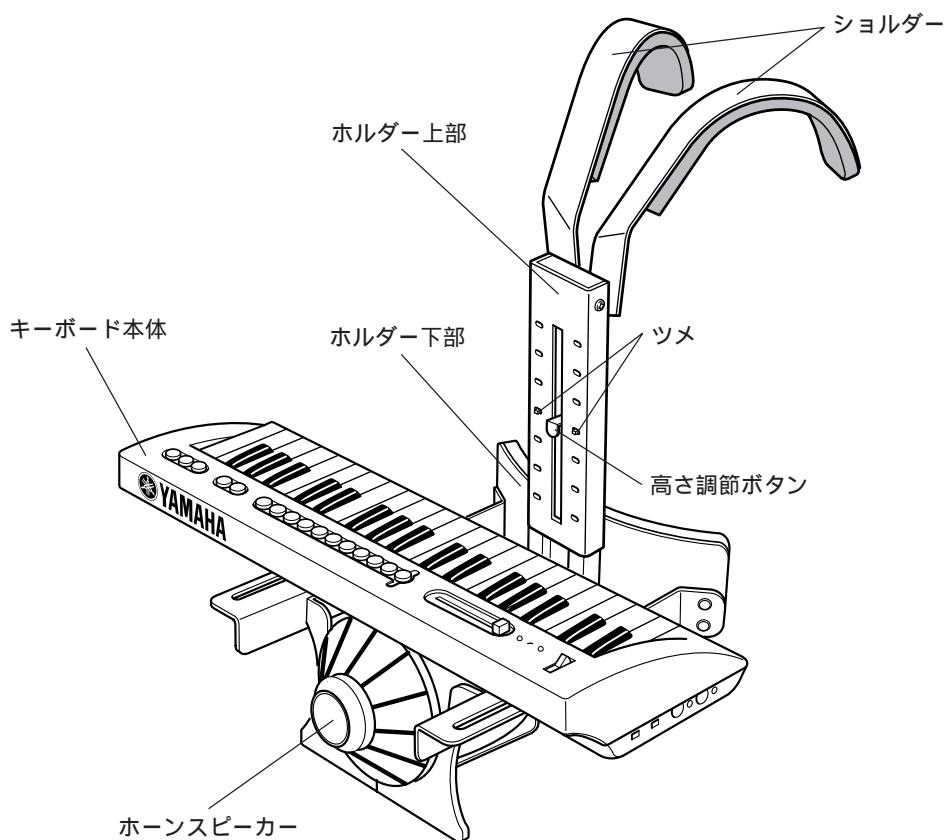
キー ボードは前後に7センチ調整することができます。キー ボード下部にある蝶ネジ(2カ所)を半回転程度緩めて、キー ボードを演奏しやすい位置に移動させたあと、蝶ネジを締めて固定します。



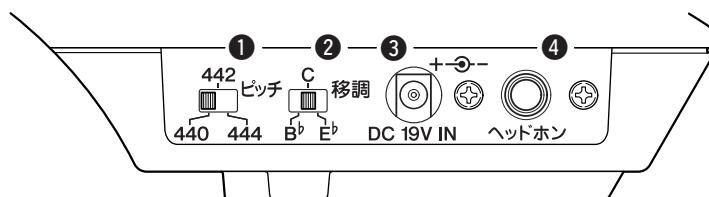
- ・ホルダーのスライド部分で指を挟まないようご注意ください。



## 各部の名称と機能



### キーボード側面(スイッチ、接続端子)



#### ① ピッチ切替スイッチ

自然楽器のチューニングに合わせて、3段階(440Hz/442Hz/444Hz)の切り替えができます。

#### ② 移調スイッチ

演奏する楽譜に合わせて、3種類(B♭/C/E♭)の調に切り替えができます。

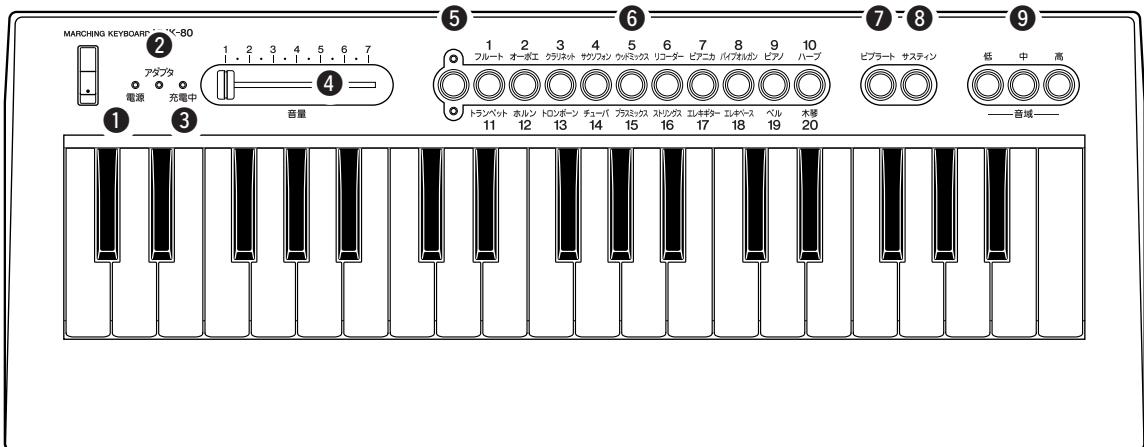
#### ③ 電源アダプター接続端子

専用の電源アダプター(PA-Y19)を接続する端子です。

#### ④ ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを使用するとき、ここに接続します。ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

## キーボード上面(操作子)



### ① 電源スイッチ/ランプ

本機の電源スイッチです。スイッチの白丸印の部分を押すと、電源が入ります。

電源が入ると電源ランプが点灯します。また、内蔵バッテリーの残量が少なくなると、電源ランプが点滅します。そのようなときは内蔵バッテリーを充電してください。(10ページ参照)

### ② アダプターランプ

電源アダプターが接続されているときに点灯します。

### ③ 充電中ランプ

内蔵バッテリーの充電中に点灯し、充電が終了すると消灯します。

### ④ 音量レバー

音量を調節します。右に動かすと音量が大きくなり、左に動かすと音量が小さくなります。

### ⑤ 音色グループ切替ボタン/ランプ

音色ボタンの上下に書かれている音色グループを切り替えるボタンです。

ボタンが押されていないときは上のランプが点灯し、音色ボタン上段の音色(1：フルート～10：ハープ)を選ぶことができます。

ボタンが押されているときは下のランプが点灯し、音色ボタン下段の音色(11：トランペット～20：木琴)を選ぶことができます。

### ⑥ 音色ボタン

上下10種類ずつ、20種類の中から音色を選ぶことができます。

- 何もボタンが押されていないときは、選ばれている音色グループの1番左の音色が選ばれます。

### ⑦ ピブラートボタン

選んだ音色にピブラートを加えます。

- 音色によっては、ピブラートがかかりません。

### ⑧ サステインボタン

選んだ音色にサステイン(音の余韻)を加えます。

### ⑨ 音域切替ボタン

鍵盤を押したときに鳴る音域を変えます。

「低」を選ぶと、音域全体が1オクターブ下がります。

「中」を選ぶと、もとに戻ります。

「高」を選ぶと、音域全体が1オクターブ上がります。

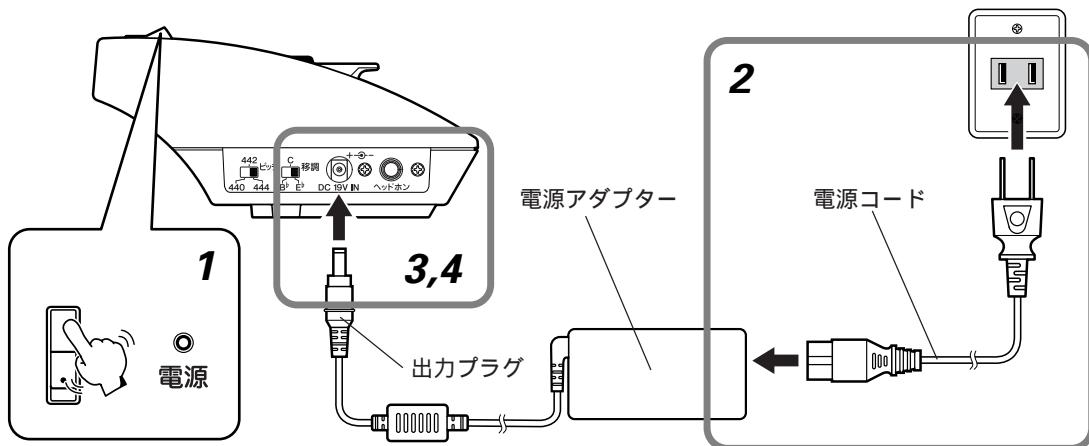
- 何もボタンが押されていないときは、「中」が選ばれます。



# 充電のしかた

本機の内蔵バッテリーは、輸送時の事故を防ぐため充電されておりません。はじめて使用される際は、必ず充電してからご使用ください。

- (! 注意!)** • 充電には必ず付属の専用電源アダプター(PA-Y19)をご使用ください。他のアダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。
- (メモ)** • 充電に最適な温度は25℃です。充電は温度が0℃～40℃の範囲内なら可能ですが、極端に寒い場所や暑い場所を避けて充電してください。



- 1** キーボード本体の電源スイッチを切ります。
- 2** 電源アダプターと電源コードを接続し、電源コードのプラグを家庭用(AC100V)コンセントへ差し込みます。
- 3** 電源アダプターの出力プラグを、本体側面のDC 19V IN端子に差し込みます。アダプターランプと充電中ランプが点灯し、充電が開始されます。

- (! 注意!)** • 電源スイッチは切った状態にしておきます。電源が入った状態では充電されません。

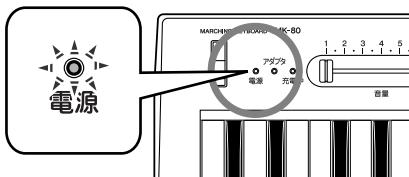
充電は約一時間で終了し、充電が終了すると充電中ランプが消灯します。

- 4** 電源アダプターの出力プラグを本機から抜きます。

- (メモ)** • 充電後、2時間程度連続演奏ができます。(音量を最大で、3音同時に鳴らし続けたとき)

内蔵バッテリーの残量が少なくなると、電源ランプが点滅します。

点滅を始めてから20分程度はそのまま使用できますが、さらに残量が減ると、自動的に電源が切れて電源ランプが消灯します。そのような場合はすみやかに充電をしてください。



① 注意!

- ・2回目以降の充電は、必ず電源ランプが点滅してから行ってください。電源ランプが点滅する前での放電・充電をくり返すと「メモリー効果」現象が起こり、使用できる時間が短くなります。このような場合は、長い放電(電源ランプが消えるまで使用)と、満充電を数回くり返すことで、解消することができます。
- ・それでも使用できる時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの寿命なので交換することをお奨めします。内蔵バッテリーの交換は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点までご依頼ください。

### 充電をするときのご注意(必ずお守りください)

△ 警告

- ・幼児がいたずらをするような所では充電しない。  
幼児の感電など、思わぬ事故が発生する恐れがあり大変危険です。
- ・電源アダプターや電源コードのプラグ部分を濡れた手で触らない。  
感電する恐れがあり大変危険です。
- ・電源アダプターや電源コードを水没させない、または雨中に放置しない。  
故障の原因になります。水が入ったと思われるときは、お買い上げの販売店か、別紙のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

△ 注意

- ・充電は平坦な場所で行なう。
- ・電源アダプターや電源コードの扱いは充分に注意する。  
コードが折れたり傷つける原因になります。
- ・電源アダプターは落としたり衝撃を与えない。  
故障の原因になります。
- ・電源アダプターや電源コードの上に、カバーや物をのせない。または、電源アダプターを重ねたり密着させない。  
内部が発熱し、故障や火災の原因になります。
- ・電源アダプターや電源コードのプラグ部分、キーボード本体の接続端子に土や水が付かないよう注意する。  
充電ができなくなったり、故障の原因になります。プラグ部分や接続端子は、いつでもきれいにしておいてください。

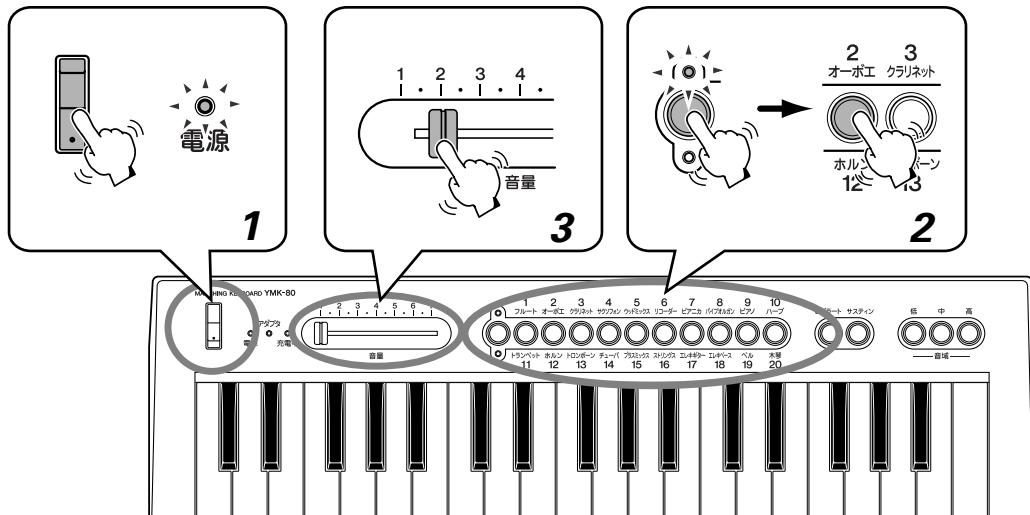


# 音を出して演奏しましょう

充電が終了したら音を出して演奏しましょう。

- ①注意!** 電源を入れるときは、必ず音量レバーが「1」になっていることを確認してください。

## 演奏してみよう



### 1 電源スイッチを入れます。

電源ランプ、音色グループ切り替えランプが点灯します。

### 2 音色切替/音色ボタンを押します。

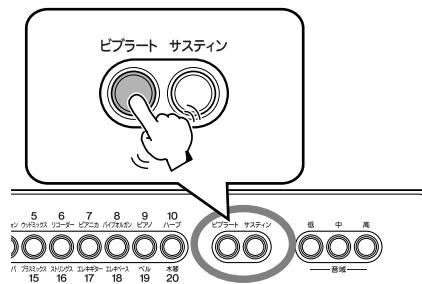
音色切替ボタンで上段(1~10)番、下段(11~20)番を選んだあと、音色ボタンで使用する音色を選びます。

### 3 音量レバーで音量を調節します。

使用する場所や人数に合わせて調節してください。

- ①注意!**
- 大きな音を出すときは、スピーカーの近くにお子様がいないか確認してから行なってください。
- 本機は1音で大きな音が出るように設定してあります。多くの鍵盤を押さえて音が割れたり、周囲がビリついたりする場合は、音量を小さくしてください。

## ビブラートをかけてみよう

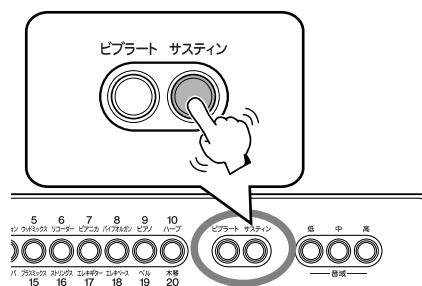


音色にうねりが加わります。音に抑揚をつけたり、厚みを付けたいときに使用します。



- ・ビブラートボタンを1度押すと押し込まれた状態になって「オン」、もう一度押すと「オフ」になります。
  - ・以下の音色には、ビブラートはかかりません。
- 8 バイブルガルガン、9 ピアノ、10 ハープ、15 ブラスミックス、16 ストリングス、20 木琴

## サステインをかけてみよう

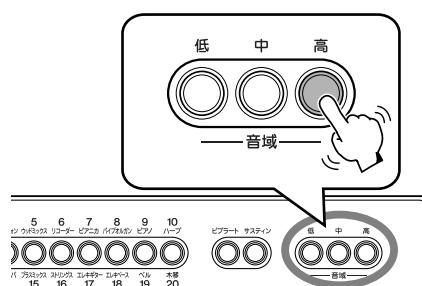


音色に余韻が加わります。ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときのような効果が得られます。



- ・サステインボタンを1度押すと押し込まれた状態になって「オン」、もう一度押すと「オフ」になります。
- ・サステインがかかっているとき1度に多くの鍵盤を弾くと、最大同時発音数を超えて最初に弾いた音が途切れることができます。このようなときは、最大同時発音数(8音)を越えないように注意してください。

## 音域を切り替えてみよう



演奏できる音域が切り替わります。演奏するパートの音域に合わせて選んでください。



- ・何もボタンが押されていないときは、「中」が選ばれます。

## 電源アダプターを使って演奏してみよう

本機は、電源アダプターから電源を供給しながら使用することもできます。



- 接続方法は、10ページ「充電のしかた」を参照してください。
- 電源アダプターを使用すると、内蔵バッテリーを消耗しません。

### 1 電源アダプターを接続します。

電源アダプターを接続すると、アダプターランプ、充電中ランプが点灯します。

### 2 電源スイッチを入れます。

充電中ランプは消灯し、電源ランプ、アダプターランプ、音色グループ切り替えランプが点灯します。

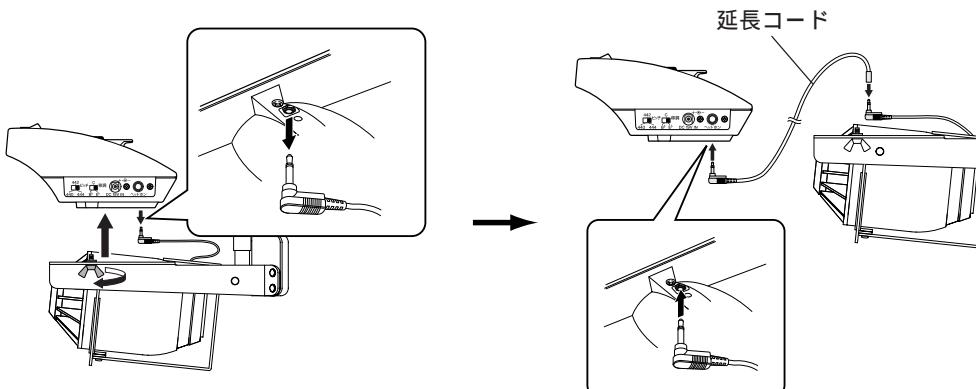
### 3 以降の操作方法は、12ページ「演奏してみよう」の手順2以降と同じです。



- 上記の使い方をしているときは、充電はされません。

## このような使い方もあります

ホルダー下部からキーボード本体を取り外し、市販の延長コードを使用すると、キーボードを机の上に置いて使用することもできます。



### 1 左右の蝶ネジを緩めてキーボード本体をホルダーから外し、スピーカーコードのプラグを外します。

### 2 延長コードを介して、キーボード本体とスピーカーを接続します。



- 元の状態に戻すときは、取り外した手順を逆に行ないます。



- キーボード本体とスピーカーを接続するコードは、引っ張ったり物をぶらさげたりしないでください。



# 付録

## 故障かな？と思ったら

| 症状                     | 原因                                    | 解決方法  |
|------------------------|---------------------------------------|---|
| 電源が入らない                | 内蔵バッテリーをご使用の場合<br>バッテリーが消耗しているため。     | 内蔵バッテリーを充電してください。<br>(10ページ参照)  |
|                        | 電源アダプターをご使用の場合<br>コードやプラグが接続されていないため。 | コードを正しく接続してください。<br>(10ページ参照)   |
| 音が出ない                  | スピーカーコードのプラグが抜けているため。                 | スピーカーコードのプラグを接続してください。  |
| 押された鍵盤数だけの音が出ない        | 9音以上の鍵盤を同時に押されたため。                    | 同時に鳴らせる音の数は、8音になります。  |
| 内蔵バッテリーでの使用時間が極端に短くなった | 浅い充電、放電を何回も繰り返したため。                   | 完全に放電(電源ランプ(赤色)が消えるまで使用)をしてから、完全に充電(充電中ランプ(橙色)が消えるまで)してください。これを数回繰り返すと解消できます。それでも直らない場合は、内蔵バッテリーの寿命なので、ヤマハ電気音響製品サービス拠点で、電池の交換をしてください。 |
| 押した鍵盤と違う音程で鳴る          | 移調スイッチが、「C」以外のところにセットされているため。         | 移調スイッチを「C」にセットしてください。(8ページ参照)   |
| 他の楽器とピッチが合わない          | ピッチ切替スイッチが合っていないため。                   | ピッチ切替スイッチで他の楽器とピッチを合わせてください。<br>(8ページ参照)  |

## 仕様

|        |   |
|--------|---|
| コントロール | 鍵盤：ミニ鍵盤37鍵 音域切替：3段階(上下1オクターブ) 音量：1～7目盛<br>効果：ビブラート、サステイン ピッチ：440/442/444Hz 移調：B♭/C/E♭   |
| 入出力端子  | ヘッドホン出力端子：ステレオ標準ジャック 電源アダプター接続端子：DC 19V   |
| 発音     | 発音音域：B♭1～E♭7 最大同時発音数：8音 音色数：20音色<br>音色名：フルート、オーボエ、クラリネット、サックス、ウッドミックス、リコーダー、ピアニカ、パイオルガン、ピアノ、ハープ、トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ、プラスミックス、ストリングス、エレキギター、エレキベース、ベル、木琴 |
| 表示部    | 電源ランプ：赤×1 アダプターランプ：緑×1 充電中ランプ：橙×1<br>音色グループランプ：赤×2  |
| 出力     | スピーカー出力：8W/8  |
| スピーカー  | 定格入力：10W 口径：130mm 定格負荷：8  |
| 電源     | 電源アダプター(PA-Y19)：定格出力19V/2.11A<br>内蔵バッテリー：定格容量12V/1500mAh  |
| 消費電力   | 電源アダプター使用時：13.5W 内蔵バッテリー使用時：7.5W  |
| 寸法     | 間口：480mm 奥行：534mm 高さ：596mm<br>(キーボードを最も離し、ツメは一番下、ショルダーを垂直に立てた状態)  |
| 本体重量   | 4.1kg(付属品は除く)   |
| その他    | キーボード前後可動寸法：70mm ホルダー上部可動寸法：150mm   |



この取扱説明書は  
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)を  
使用しています。